

狩獵による事故や違反

なくしましよう



- 狩獵はしならぬ
- 狩獵禁止区域に立ち入り狩猟しない。
- メスキジ・保護鳥類を捕獲しない。
- 亂射をしない。
- 日の出前、日没後の銃獵をしない。
- 農作物等他人の財産に損害を与えない。
- 銃器の保持、取扱い及び保管を確実にする。

よせた手紙を平尾道雄先生
少佐梶山鼎が、西郷従道に



敏春をして、書を北村中佐
田辺義次郎、桑原謙が、西
郷の挙兵とともに参兵しよ
うとしたその背後は、林有
造などもあるが、これまた
富永有隣の連絡によるもの
であるといわれている。

婚儀届は
婚姻届は
挙式の日に

おおせいの人達に祝福さ
れ、めでたく結婚式を挙げ
られたお二人は、式の緊張
から解放されると、その場
からあわただしく新婚旅行
になります。この忘れるも
うですが、このまま旅行
に出られたのでは、大きな
忘れものをしていることに
なります。この忘れるも
うでは、お二人の人生の
出發に一番大切な婚儀届の
ことであります。お二人は法律
をしていないお二人は正式
な夫婦として認めてくれま
せん。

届けをしないまま放つて
いたのです。婚姻の届出

（中西）

成人式

有隣の古録、易学にくわしい老の毎月愛用の筆と印判

大石圓の家に富永有隣が潜伏していることは周知のことである。逮捕に向った警察官が圓の家に、富永有隣を探索にきた。圓は叱りつけた。

「一步でも入ってみろ、踏み込んだ足を断ち斬るぞ、二歩入ってみろ、その足も断ち斬るぞ。」と警官はそうそうとたち去つたと若尾潤水はこうした意味を記している。

（有隣研究の第一人者、玉木俊雄氏が集録された資料）

（有隣研究の第一人者、玉木俊雄氏が集録された資料）